

平成29年 第11回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日 時 平成29年11月16日(木) 午後2時00分～午後3時40分

2. 場 所 総合教育センター 2階 講座室

3. 出席者 <教育委員会>

教育長 木下 誠 教育委員 川畑 徹朗

教育委員 江原 礼子 教育委員 川崎かおり

<事務局>

教育次長 二宮 叔枝 学事課長 大村 寿一

学校教育部長 村上 順一 総合教育センター主幹 尾崎 眞弓

生涯学習部長 山中 茂 保健体育課長 増田 健一

教育長付参事 柳田 尊正 小学校給食センター所長 鴨川 憲之

教育長付参事 谷澤 伸二 中学校給食センター所長 長澤 利文

学校教育部参事 佐藤 幸宏 社会教育課長 中畔明日香

生涯学習部参事 綾野 昌幸 公民館長 池田 真美

総合教育センター所長 後藤 猛虎 博物館長 亀田 浩

人権教育室長 佐藤 文裕 少年愛護センター所長 河崎 信良

職員課長 植松 俊二 教育総務課長 池田 昌弘

施設課長 宮木 哲男 教育総務課主査 高田 幸美

教育企画課長 矢田貴美代 教育総務課 寺内 みこ

学校指導課長 廣重久美子

4. 欠席者 教育委員 秋田 久子

5. 傍聴人 1人

6. 議 事

(1) 開会宣言 木下教育長(午後2時00分)

(2) 日程報告 木下教育長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員はこれを了承。

日程第 1 平成29年第10回定例会会議録の承認

日程第 2 教育長報告

日程第 3 報告第7号の承認

日程第 4 議案第66号の審議

日程第 5 議案第67号の審議

日程第 6 議案第 68 号の審議

日程第 7 議案第 69 号の審議

日程第 8 議案第 70 号の審議

(3) 平成 29 年第 10 回定例会会議録の承認（日程第 1）

平成 29 年第 10 回伊丹市教育委員会定例会（平成 29 年 10 月 19 日〈木〉開催）会議録については、全委員一致でこれを了承。

(4) 教育長報告（日程第 2）

管理部長より「11 月分人事報告」・「10 月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「10 月分の寄附採納報告」について、学校教育部長より学校教育部の、生涯学習部長より生涯学習部の、教育長付参事より人権教育室の、幼児教育施策推進班長より幼児教育施策推進班の 10 月分行事実施報告」・「12 月分行事実施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

江原委員 3 点質問させていただく。10 ページの中学校給食センターの 10 月行事実施報告について。13 日（金）に視察に来られたのは、私立幼稚園の教職員か保護者か。

長澤所長 私立幼稚園の P T A の方が研修の一環として、アレルギー対応や中学校給食センターの運営を見に来られた。

江原委員 ありがとうございます。先日、小学校の地区社会福祉協議会の会長とお話をする機会があった。中学校給食センターへ視察に行かれたようで、栄養バランスを考えて給食を実施していることを感心されていた。残食が一定数あるのは残念だとおっしゃっていたが、私が松崎中学校を訪問したときに、学校でも様々な工夫をされていた。関係される方があらゆるところで組力されていることを改めて有難いと思った。

12 ページの学校指導課の 12 月行事実施予定について。21 日（木）に開催される中学校道徳教育担当者会に関して、これまでもお尋ねしていることだが、道徳の教科化に向けた動きについて教えていただきたい。

廣重課長 21 日は 31 年度から全面実施される新学習指導要領について、理解を深める予定である。中学校に先駆けて、小学校では平成 30 年度から道徳の教科が始まる。現在、教科書の見本を使用して来年度の計画を立てているところである。授業は、単なる話し合いや登場人物の心情の読み取りに

偏らず、考えて議論するような質の転換を図ることが求められている。各学校の児童生徒の実態に応じて、問題解決型的な授業を展開するためにはどうすればよいかということを中心にした研修も進めている。

教科化なので、評価をすることになる。評価については、多面的なものの見方や道徳的価値の理解という部分を他の児童生徒と比べるのではなく、個人で見てどうかを記述で行うこととなっており、そのことについても研修で理解を深めているところである。

江原委員 ありがとうございます。前回の教育トークで地域の方からも質問が出ていた。教科書採択の際にご説明いただいた内容で地域の方にお話ししたが、関心の高い事柄だと感じているため、今後も着実に取組を進めていただくようお願いする。

22ページの公民館の10月行事実施報告について。⑥学習成果活用支援について、平成28年度の年報を拝見したところ、平成27年度の実績に比べて平成28年度は約1.5倍に伸びている。当該制度の利用方法等についてはどのように周知されているのか教えていただきたい。

池田館長 公民館登録グループ地域派遣事業「まちなか公民館」については、グループにエントリーしていただいた内容をメニュー表としてまとめて、自治会で回覧いただいたり、地域に配付するなどして周知し、依頼に応じてグループを派遣するという仕組みになっている。事業を開始した平成27年度は18件の依頼をいただき、平成28年度は26件、平成29年度は昨日までで40件と増加しており、ニーズの高さを感じている。中でも子どもが参加する行事に係る依頼が増加しており、地域の子も会からの依頼も多く、イベントで子どもたちが喜ぶような工夫についてご相談いただくこともある。活動の成果をそういう形で地域に還元して、地域に貢献できることは達成感につながり、喜ばしいことだと感じている。

しかし、一方で依頼を受けるグループに偏りが生じており、対応が難しいことがあるため、公民館で活動されているグループ以外も視野に入れて検討する予定である。学習が地域活動に果たす役割を再確認しながら、今後はアピールにも力を入れていきたい。

江原委員 ありがとうございます。まさに生涯学習として元気のある事業だと嬉しく思う。依頼件数の増加に伴い課題も見えてきているということなので、知恵を絞りながら前に進めていけたらと思う。

川畑委員 教育長報告の内容とは直接関係ないが、先日、兵庫県の組体操の事故件

数は全国で最も多いという新聞記事を目にした。これから分析されるという話だが、今の段階で何か情報を得ておられたら教えていただきたい。

増田課長 本市の状況については、協議会で報告させていただいた以降の変動はない。どのような事故が多いかということを中心に現在分析しているところである。

木下教育長 組体操を推進するのか、やめるのかについては両方の考え方があるが、兵庫県においては、これまでと同じように実施している学校が多いというふうに理解している。本市においては、組体操の実施にあたり、児童生徒の安全を第一に考えて、発達段階に応じた指導ができるよう、学校が指導計画を作ることや、教職員の研修等の取組を行っており、事故の件数は激減している。

川畑委員 県の教育委員会は、なぜ組体操の事故が多いのかということを中心に分析して今後まとめようと思うが、参考になることがあれば本市にも取り入れていただきたい。逆に、本市の取組、雨天時の練習方法や組体操に特化した教職員研修、計画書の作成・提出等は、事故の防止に有効であると考えているので、積極的に発信していただきたい。

木下教育長 機会を捉えて発信していきたい。

増田課長 本市では、現在体育担当者会等で今年発生した組体操の事故件数をお示しし、対策等について理解を深めている。

その中でも1点気になっているのは、高い所から転落して骨が折れたというような怪我ではなく、例えば、体を支えようとして手を着いたら骨にひびが入ったというようなものが増えているということ。食生活を考えて骨を強くすることが必要だという意見も出ている。

川畑委員 運動にはリスクが伴うが、生死に関わるような大きな事故は絶対に防がなければならない。県の分析結果等も活用して、出来る範囲の予防措置はこれからも実行していくべきである。

川崎委員 7-2ページの総合教育センターの10月行事実施報告について。教育相談の内容で、これまでと変化が見られるようなことがあれば教えていただきたい。全国学力・学習状況調査の結果を見ると、学力格差が著しく縮まっていることから、相談内容も変化があるのではと思います、お聞きする。

尾崎主幹 最も多い相談が不登校についてである。次いで身体健康・発達に関すること、性格や情緒不安に関すること、しつけ・子育てに関すること、友人関係・親子関係に関することとなっている。全体の傾向の変化としては、不登校が増えているということがある。

- 川崎委員 家庭学習に関するような相談はないか。
- 尾崎主幹 学校に配置しているスクールカウンセラーの方では、進路に関することが多いという傾向がある。教育相談では、しつけ・子育てに関する相談の中でそういった内容が含まれることがあるかもしれない。
- 川崎委員 ありがとうございます。
- 木下教育長 7－3ページの初任者訪問指導の10月報告について。初任者の様子をまとめて後日報告していただきたい。
- 川崎委員 感想があればお聞きしたい。
- 尾崎主幹 初任者訪問指導の対象は43名で、10月末までに22名を訪問した。訪問指導は年度当初にも実施しているが、そのときよりたくましさや子どもとの関係の良さが見られた。指導力はまだまだだと感じる部分もあるが、自信を持って教壇に立っている姿を見ることができて、元気に頑張っているという印象をもった。指導力については、継続してきめ細かく指導していきたいと考えている。
- 江原委員 私も一緒に回らせていただく中で、1学期に堅い表情で授業をされていた先生が、和やかな雰囲気ですぐに学級経営をされている様子や、自信を持って子どもたちと向き合う様子を見ることができて嬉しく思っている。

(5) 報告第7号の承認（日程第3）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「報告第7号」の「専決第11号 平成29年度第3回教育関係費補正予算要求の申出について」を承認。

(6) 議案第66号の審議（日程第4）

秘密会で審議の後、全委員一致で、「議案第66号 伊丹市幼児教育の推進に関する条例の制定の申出について」を可決。

(7) 議案第67号の審議（日程第5）

秘密会で審議の後、全委員一致で、「議案第67号 伊丹市立幼児教育センター条例の制定の申出について」を可決。

(8) 議案第68号の審議（日程第6）

秘密会で審議の後、全委員一致で、「議案第68号 伊丹市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定の申出について」を可決。

(9) 議案第69号の審議（日程第7）

秘密会で審議の後、全委員一致で、「議案第69号 伊丹市立博物館協議会委員の委嘱について」を可決。

(10) 議案第70号の審議（日程第8）

秘密会で審議の後、全委員一致で、「議案第70号 平成30年度伊丹市公立学校・幼稚園教職員人事異動方針の策定について」を可決。

(11) 閉会宣言

木下教育長（午後3時40分）

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育長 木下 誠

伊丹市教育委員会委員 江原 礼子